

みずほCustomer Desk Report 2018/07/09号(As of 2018/07/06)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.73 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.54	1.1693	129.27	1.3222	0.7387
SYD-NY High	110.79	1.1768	129.97	1.3290	0.7444
SYD-NY Low	110.38	1.1681	129.26	1.3204	0.7376
NY 5:00 PM	110.46	1.1744	129.71	1.3290	0.7424
NY DOW	24,456.48	99.74	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,688.39	101.96	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,759.82	23.21	米国2年債	2.5386	▲1.62bp
日経平均	21,788.14	241.15	米国5年債	2.7170	▲1.34bp
TOPIX	1,691.54	15.34	米国10年債	2.8227	▲0.91bp
シカゴ日経先物	21,830.00	110.00	独10年債	0.2925	▲0.30bp
ロンドンFT	7,617.70	14.48	英10年債	1.2665	0.90bp
DAX	12,496.17	31.88	豪10年債	2.6125	2.35bp
ハンセン指数	28,315.62	133.53	USDJPY 1M Vol	6.35	▲0.38%
上海総合	2,747.23	13.35	USDJPY 3M Vol	6.95	▲0.30%
NY金	1,255.80	▲3.00	USDJPY 6M Vol	7.41	▲0.19%
WTI	73.80	0.86	USDJPY 1M 25RR	-0.91	Yen Call Over
ORB指数	198.05	1.85	EURJPY 3M Vol	8.11	▲0.32%
ドルインデックス	94.04	▲0.43	EURJPY 6M Vol	8.55	▲0.16%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月6日	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	5月 2.6%	0.3%
	21:30	米 貿易収支	5月 -\$43.1b	-\$43.6b
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	6月 213k	195k
	21:30	米 失業率	6月 4.0%	3.8%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	6月 0.2%/2.7%	0.3%/2.8%
	21:30	米 労働参加率	6月 62.9%	62.7%

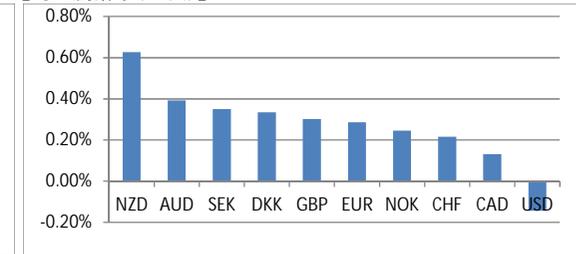
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月9日	08:50	日 経常収支	5月 ¥1,266.0b	¥1,845.1b
	09:30	日 黒田日銀総裁講演	-	-
	22:00	欧 ドラギECB総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.00	1.1700-1.1800	129.00-130.00

【マーケットインプレッション】

先週末の海外市場は米国の対中国関税措置を受けた中国の報復関税の対抗措置の報道には反応薄。注目の米雇用統計はNFPこそ市場予想を上回る数字だったものの、失業率や平均時給は市場予想を下回る数字にドル円は110円半ば割れへ下落。その後は週末を控えて小動きの展開で110.40-45レベルで引けた。本日はイベント通過で米主要経済指標の発表もないことから、ドル円は引き続き110円台での推移を予想する。

東京	東京時間のドル円は110.54レベルでオープン。朝方は堅調な日経平均株価にサポートされる格好でドル円も底堅く推移。その後、米国の対中関税措置が予定通り発動されると、中国商務省から「必要に応じて反撃せざるを得ない」と報復措置を講じる姿勢が示されたものの、相場への影響は限定的となり、ドル円は110円台後半での推移が継続。その後も方向感なく推移し、結局110.70レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.70レベルでオープン。米中関税発動を受け、110.53まで売られるも、極端な動きにはつながらず、米6月雇用統計の発表を前に様子見ムードのまま110.62レベルでNYに渡った。ユーロは1.1707レベルでオープン。6月14日以来の水準となる1.1727まで緩やかに上昇し、1.1713レベルでNYに渡った。ポンドは1.3232レベルでオープンし、ユーロに追随するように1.3252まで買われた後、1.3222まで下落。1.3229レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は110.62レベルでNYオープン。朝方は注目の米6月雇用統計で、非農業部門雇用者数変化が予想を上回り、前回分も上方修正され、労働参加率も上昇したことから一旦110.67まで上昇するが、平均時給が予想ほど上昇しなかったことからドル売りが優勢となり、110.42まで反落する。その後やや戻す局面もあったものの、賃金上昇ペースが緩やかでインフレ期待が下がってこないことからドル売りが強まり、110.38まで下落する。午後は週末を控え、方向感の無い閑散な取引が続きました。一方、ユーロは独5月鉱工業生産が予想を上回ったことから1.1727まで上昇し、1.1713レベルでNYオープン。朝方は米6月雇用統計結果を受けたドル売りに1.1768まで上昇する。午後は週末を控え、1.1740付近での推移が続き、1.1744レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山下・森谷